

日本から 3,000 人の訪問団が北京へ！訪日観光促進の期待高まる

北京事務所

5月22日(金)から24日(日)にかけて、日中観光交流の促進を目的とした「日中観光文化交流団事業」が実施され、中国政府の全面的な協力のもと、観光関係者、自治体、経済界などからなる3,000人余りの訪問団が北京を訪れました。

クエア北京事務所は、この3,000人の訪中に合わせて北京市内で開催された2つの観光イベントにブースを出展し、日本各地の観光プロモーションを行いました。

ビジットジャパンFITトラベルフェア&商談会

日本政府観光局(JNTO)の主催により、22日(金)には日本と中国の業界関係者のビジネスチャンス拡大を図る商談会が、23日(土)と24日(日)には北京市民等に日本観光の魅力をPRする「ビジットジャパンFITトラベルフェア」が北京市の長富宮飯店(ホテルニューオータニ)で開かれました。商談会には、日本側67団体・北京の旅行会社37社が参加し、夏の訪日送客に関する打ち合わせなど多くの商談が行われました。トラベルフェアには日本各地の自治体や観光協会、旅行会社など45社・団体が出展。開場直後から大勢の家族連れらが会場を訪れ、各ブースの担当者が観光パンフレットや地図などを手渡して各地の見どころなどを積極的に売り込みました。クエア北京事務所もブースを出展し、日本各地の観光パンフレットを配布するなどして、その魅力をPRしました。クエアブースには多くの旅行業界関係者や



多くの来場者で賑わうクエアブース

一般来場者が立ち寄り、各地の観光情報を熱心に収集していました。このイベントには2日間で延べ約2,400人もの来場者が訪れ、クエアブースに設置していた観光パンフレットもほとんど無くなってしまふほどの盛況で、中国人の訪日観光への関心の高さが感じられました。



ブースには日本各地のパンフレットを設置

Yokoso Nippon! (日本欢迎您!)

23 日(土)には日本大使館において、中国の旅行関係者らを招待して Yokoso Nippon!(日本欢迎您!)が開催され、日本企業らとともに各自治体が参加したほか、クリアも JNTO と共同でブースを出展しました。各地方のパンフレットは飛びようになり、ブースを訪れた人々からは「日本の温泉に行きたいけど有名な場所は?」「京都・大阪には行ったけど他のおすすめの地方は?」など多くの質問が飛び、日本の観光地に興味津々な様子でした。企業ブースには、日本が誇る各メーカーが食品・飲料・化粧品・医薬品・バイク・カメラなどの展



大使館でも盛況のクリア・JNTO ブース



屋外には日本メーカーのバイク展示

示を行いました。日本料理の試食やビールの試飲なども行われ、観光だけでなく日本の製品・文化の PR にも絶好の機会となりました。会場には、訪中団の団長である二階自民党総務会長をはじめ、多くの国会議員も来場されました。また、北海道、埼玉、福井、奈良の 4 道県の各知事らも相次いで会場を訪れて職員を激励いただきました。

訪日観光に追い風

23 日(土)夜に人民大会堂で行われた「日中観光交流の夕べ(中文:中日友好交流大会)」では、習近平中国国家主席が「中国は中日関係の発展を高度に重視している。両国間で交わされた 4 つの合意文書を基礎に、ともに両国の平和的な発展でアジアと世界の平和に貢献していきたい」と述べ、日中関係改善の進展に意欲を示しました。JNTOによると、今年 1~5 月の中国人観光客は前年同期比 105.7%増の 171 万 6,400 人と、国・地域別では韓国を抜き、中国が最大の訪日観光客の送り元となっています。日中関係改善の機運が高まっているなか、今後の更なる訪日観光客増加の可能性が感じられます。

クリア北京事務所は、より多くの中国人に日本の魅力を知っていただき、実際に日本の各地に足を運んでいただけるよう、今後も自治体と連携しながら情報発信・各種 PR 活動を行っていきます。

(中川所長補佐 福岡県派遣)